

メガネサナエのモニタリングについて

諏訪地域振興局環境課

1 目的

長野県レッドリストでは絶滅危惧ⅠB類に区分されており、諏訪湖創生ビジョンでは指標水生動物に位置付けてられているメガネサナエ（トンボ）についてモニタリングを行い、生態系保全のための手法を検討する。

2 調査方法

メガネサナエの繁殖活動期である令和元年8月から9月に、繁殖場所である宮川沿い約1kmを往復し、ラインセンサスにより成虫の個体数を調査した。

※ラインセンサス 一定区間を歩きながら目視で対象生物の出現数をカウントする調査方法

3 調査結果

実施日	令和元年8月20日(火)		令和元年9月3日(火)		令和元年9月20日(金)	
	往路	復路	往路	復路	往路	復路
天候	曇り	曇り/小雨	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ
気温(°C)	29.0	27.0	28.6	30.4	21.8	26.8
風向	-	W	NW	NNW	N	N
風力(m/s)	0	1.0	0.6	1.0	0.8	1.8
雲量(%)	100	100	30	30	20	20
照度(lux)	76,000	32,000	65,000	115,000	95,000	112,000
開始時刻～終了時刻	10:20～ 10:55	10:55～ 11:20	10:00～ 10:50	10:50～ 11:30	10:05～ 11:10	11:10～ 12:05
調査人数	6	6	3	3	6	6
メガネサナエ確認数 片道ごとの平均	4.5	1.0	13.0	18.0	9.8	6.7
メガネサナエ確認数 往路復路平均	2.8		15.5		8.3	

調査したいずれの日もメガネサナエを確認することができた。

確認された個体は、オスが多く、川の壁面に静止しているものや、川の水上进行しテリトリーを形成しているものを観察した。メスは9月20日に確認、雌雄連結を確認した。確認数は2回目調査の9月3日が最も確認数が多く、出現ピーク（最盛期）は9月上旬であると考えられた。

4 その他

メガネサナエは、7月上旬から8月上旬にかけて諏訪湖岸で羽化し、8月下旬から9月下旬にかけて諏訪湖に流入する河川中流域で繁殖活動をする。卵期間は10日間～2週間程度。卵からふ化した幼虫は川を下り、諏訪湖底で2～3年かけて成長する。全国では、諏訪湖、琵琶湖及び愛知県の一部のみにしか生息が確認されていない。

調査は、専門家の指導のもと、希少種保護のため非公開で行った。